



ひがし野

教育目標
 真理(まこと)を求めらる生徒
 情操(こころ)を深める生徒
 身体(からだ)を鍛える生徒



高め合い 磨き合い 感動し合い
 「愛」いっぱい真岡東中

笑顔溢れる真岡東中学校を目指して ～9/1 パパさん学校応援隊によるかき氷～

今年度は、6月に運動会を実施したため、落ち着いた雰囲気の中で2学期をスタートしました。

しかし、9月1日は、全国の小中高生にとってちょっぴり不安のある日でもあります。久しぶりに会う友だちとの人間関係に関する不安、宿題が終わっていないことへの不安など、長い夏休みを終えた生徒たちにとっては複雑な気持ちで迎える一日です。

そのような生徒たちの心に寄り添うべく、東中パパさん学校応援隊の方々のご協力をいただき、全校生徒にかき氷を配付しました。晴天にも恵まれ、かき氷が美味しく感じる太陽の日差しの中、生徒たちは友だちや先生方と笑顔でかき氷を頬張っていました。



これらの取組は、今年度からスタートしたコミュニティ・スクールの一環として実施しております。2学期の始業式は「かき氷」が、真岡東中の伝統になればと思っております。

祝！出場 東日本学校吹奏楽大会

7月30日に実施された「栃木県吹奏楽コンクール」において、見事、金賞を獲得し、栃木県代表として、「第28回東関東吹奏楽コンクール」に出場しました。35団体が出場する中で、一番目の演奏で、生徒たちの緊張は想像を超えるものだったかと思えます。



『オフィーリアの悲しみ』という、情緒的な曲を演奏しました。吹奏楽では、曲の情景を表現することが非常に難しいと言われていたようですが、真岡東中の演奏は、映画の如く、情景が映し出される演奏で、感動で涙が溢れてきました。

そして、見事に東関東代表として、10月8日に、東京都府中市で開催される「東日本学校吹奏楽大会」への出場権を獲得しました。

毎日毎日の練習の中で、丁寧に澄んだ音色を追求し、顧問の小宅教諭・安藤教諭と曲を作り上げてきた努力の賜です。

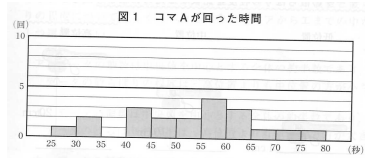
厳しい練習を乗り越え、全国への切符を手にした吹奏楽部の生徒たちに心からの敬意を表したいと思います。

学力調査の結果を活かす

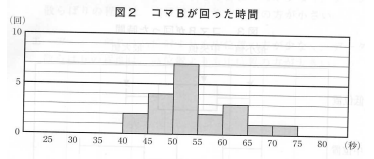
1学期に実施した各学年の学力調査（3年：全国学力学習状況調査、2年：とちぎっ子学習状況調査、1年：真岡市学力調査）の結果が戻ってきました。概ね、全国や県の成績と同等の結果でしたが、細かい部分を分析すると、本校生徒の学力の特徴を見取ることができます。

学年や教科によってもその特徴は異なりますが、共通している点は、「文章で表現する」ことが苦手な傾向があるようです。

例えば、右の図のようなデータが示され、「より長い時間回りそうな駒を選ぶとしたら、あなたならどちらを選びますか。選んだ理由を、2つのヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。」という問題では、どちらを選んでも「記述が十分でない」という結果が多く見られます。



本校では、各学年・各教科担当がそれぞれの学力調査の結果を分析し、優れた点は更に伸ばせるように、課題と思われる点は授業等の中で取り入れながら改善していくように取り組んでいきます。



さしあたり、「根拠を明確にして、論理的に説明する」能力に関しては、日常生活の中でも強化していきたいと考えております。

ご家庭での会話の中でも、時には論理的な表現を取り入れていただくと、生徒の意識も変容するかと思います。

師弟同行

朝の立哨をしていると、多くの生徒たちが「おはようございます。」と挨拶をしながら手を振ってくれます。言葉にはしませんが、「今日も頑張ろうね。」とお互励まし合っているような気持ちになります。とても温かな心で一日をスタートさせることができていることに感謝しております。